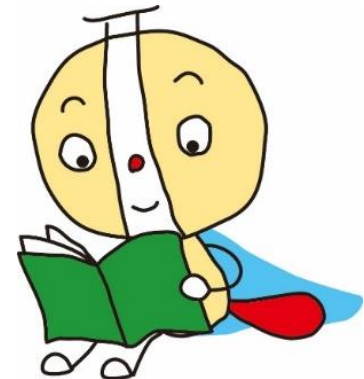


# 令和2年度西成区運営方針 【概要版】



スーパーボンボコジャガビー  
にしなりくん

# 令和2年度 西成区運営方針

## 西成区の目標（何をめざすのか）

未来を担う子どもたちが健やかに育ち、だれもが笑顔にあふれ、安心安全に暮らすことができるまちの実現をめざす。

## 西成区の使命（どのような役割を担うのか）

地域住民等との連携・協働のもと、区長自らの権限・責任において、地域の実情や特性に即した施策や支援を行う。また、多様な区民の意見やニーズを把握し、区政への区民の参画など、地域と一体となって様々な施策を展開していく。

## 令和2年度 西成区運営の基本的な考え方（区長の方針）

西成区は、少子高齢化やあいりん地域などの様々な課題を抱えている。それらを解決するため「1 子どもに寄り添った支援と子育てしやすいと実感できるまち」「2 活気にあふれ、誰もが歩きたくなる楽しいまち、豊かに自分らしく健康に生活できるまち」「3 災害に強いまち、犯罪が起こりにくく、安心安全に暮らせるまち」「4 官と民が協働して取り組み、あいりん地域が抱える様々な課題を解決し、安心して暮らすことができるまち」に向けた施策や支援などを重点的に取り組んでいく。西成特区構想については、引き続き人的資源や地域資源を活かして、にぎわい創出と再チャレンジ可能なまちの実現をめざした取組みを推進する。さらに、子育て支援の充実や重大な児童虐待ゼロに向けて区の特性に応じ、一層の対策を進めていく。

また、区民にとって身近で親しみやすい区政運営を推進することにより、区民から信頼される区役所づくりをめざす。

なお、各経営課題における具体的取組については、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながら進めていく。

## 重点的に取り組む主な経営課題

経営課題	戦略	具体的取組【令和2年度】	区政会議 各部会
子どもが育つ環境の 充実	子どもの「育ち」を支援	プレーパーク事業	教育部会
		こども食堂支援事業	
		障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業	
	子どもの「学び」を支援	西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)	
		基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)	
		西成区こども生活・まなびサポート事業	
にぎわいとコミュニ ティが生まれるまち づくり	地域資源を活かした新たなにぎわいづく りと活性化	地域密着型エリアリノベーションビジネス促進事業	西成特区構想部会
		新今宮エリアブランド向上事業	西成特区構想部会 情報発信部会
		西成区魅力発信事業	
	地域活動の支援強化	地域コミュニティ支援事業	情報発信部会
		緑化推進事業	
	地域でのつながりづくり・福祉によるまち づくり	西成版サービスハブ構築・運営事業	西成特区構想部会
		西成区地域福祉計画推進事業	
		地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業	
		単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業	
	人権尊重のまちづくり	人権尊重のまちづくり	
防災・防犯・安全対 策	コミュニティ防災力の強化	地域防災活動事業－地区防災計画を活用した地域防災力の向上－	情報発信部会
		地域防災活動事業－地域防災の担い手の発掘・育成－	
	防犯・安全対策の推進	防犯対策事業	
		自転車等安全利用啓発事業	
	空家等対策の推進	空家等対策推進事業	
あいりん地域対策	あいりん地域環境対策	不法投棄対策	西成特区構想部会
		迷惑駐輪対策	
	あいりん地域を中心とした結核対策	結核患者の早期発見・早期治療	
		結核患者の支援の充実	

めざす成果及び戦略 子どもの「育ち」を支援

## 具体的取組1-1-1 プレーパーク事業

30決算額

15,887千円

元予算額

18,036千円

2予算額

17,630千円

目標	目標値
プレーパークの一日あたりの利用者数	平均120人以上

### 今年度の取組内容

元来のプレーパークとしての「遊び場」だけではなく、子どもが課題を克服できる場として、学習支援を行う「学び場」、自己肯定感を高めることができる「たまり場」など3機能の形成を図り、それぞれの場が有機的に連携することで「生きる力」を育む子どもの居場所としてのプレーパーク事業を引き続き実施する。

- ・開催日：土日祝及び長期休み中の平日
- ・開催時間：10時～17時（冬季は10時～16時30分）
- ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により4月6日～6月13日まで休園

めざす成果及び戦略 子どもの「育ち」を支援

## 具体的取組1-1-2 こども食堂支援事業

30決算額	3,123千円	元予算額	6,858千円	2予算額	4,958千円
-------	---------	------	---------	------	---------

目標	目標値
こども食堂を区内で開設・運営	区内11小学校区に1ヶ所ずつ

### 今年度の取組内容

区内でこども食堂を開設・運営している団体等に対し、こども食堂の安定した運営や新規運営者が参入できるよう補助金により支援する。また、各団体間の情報共有やフードバンク等企業との連携を促進するネットワーク形成団体に対して運営費を補助し、開設の促進と運営の安定化を図る。

- ・開設補助:開設に必要な調理器具の経費を補助 1団体あたり150,000円(上限)
- ・運営補助:事業実施に必要な経費(賃料・光熱水費・広報関係費用等)を補助  
1団体あたり300,000円(上限)
- ・ネットワーク化補助:ネットワーク化に必要な経費(人件費・消耗品費・広報関係費用・事務費等)を補助 1,500,000円(上限)

めざす成果及び戦略 子どもの「育ち」を支援

## 具体的取組1-1-3 障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業

30決算額	— 円	元予算額	— 円	2予算額	8,079千円
-------	-----	------	-----	------	---------

目標	目標値
障がいがある子ども・親のうち課題を抱えている家庭で、関係機関につなぐべきかを検討	500人

### 今年度の取組内容

区役所と関わっていない可能性のある精神疾患や知的障がいがある子どもまたは親の全数について現状を把握するとともに、専門職員が迅速に対応することにより、親子が穏やかに生活できるよう適切な助言を行い、必要に応じて支援機関につなぐ。

精神疾患や知的障がいのある子どもの親に対する、子どもの特性を理解してもらうための連続講座や、障がいがある親がしんどい時に、親の負担軽減と子どもの見守りのための保育所等への送迎支援等も実施し、家庭に引きこもらないような取り組みを実施する。

- ・専門職員による家庭訪問
- ・言語聴覚士による専門相談
- ・保育所等への送迎支援
- ・助産師による専門的家庭訪問支援事業の対象を3ヶ月から1歳までに延長
- ・子育てが難しいと感じる親や発達障がいの子を育てる親を対象に連続講座を開催

めざす成果及び戦略 子どもの「学び」を支援

## 具体的取組1-2-1 西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)

30決算額	276千円	元予算額	218千円	2予算額	186千円
-------	-------	------	-------	------	-------

目標	目標値
参加者へのアンケートで、基礎学力の向上及び学習習慣の定着を図る項目について肯定的な意見	70%以上

### 今年度の取組内容

区内中学生を対象に、塾代助成事業が利用可能な事業者による課題授業を実施し、中学生の基礎学力アップと放課後の居場所づくりをめざす。

- ・実施場所・日時: 鶴見橋中学校(週2回 月・金 18:30~21:20)  
たちばな会館(週2回 火・金 18:30~21:20)  
玉出老人憩いの家(週2回 月・木 18:30~21:20)

めざす成果及び戦略 子どもの「学び」を支援

## 具体的取組1-2-2 基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)

30決算額	8,328千円	元予算額	8,332千円	2予算額	7,744千円
-------	---------	------	---------	------	---------

目標	目標値
授業の初回と最終回にテストを行い、点数が上昇する児童の割合	70%以上

### 今年度の取組内容

区内の小学校3・4年生を対象に、夏休みや平日の放課後及び土曜日の時間を利用し、学力の基礎となる国語・算数を中心に集中的な学習支援を行うことで、児童の学習意欲を高め、基礎学力の向上や学習習慣の定着をめざす。

・当初予定人数・時間:最大352名、年間45時間



めざす成果及び戦略 子どもの「学び」を支援

## 具体的取組1-2-3 西成区こども生活・まなびサポート事業

30決算額	14,260千円	元予算額	27,806千円	2予算額	69,679千円
-------	----------	------	----------	------	----------

目標	目標値
学びの場への定着を目的とし、遅刻者数や不登校者数の改善	前年度より減少させる

### 今年度の取組内容

今年度から全区実施されている「こどもサポートネット事業」と連携し、「こどもサポートネット事業」によって決定される要支援者への支援方針に基づき、学校に配置されているこども生活・まなびサポーターが児童生徒の課題解決に向け、「電話や家庭訪問による登校支援」等の学びの場へ定着するための寄り添い支援を行う。

平成29・30年度は区内1中学校区、令和元年度は区内2中学校区でモデル実施しており、今年度より区内全小中学校に拡充して実施している。

・「こどもサポートネット事業」とは・・・すべての子どもたちの状況を把握した上で、必要な子どもたちを支援につなげていくことを目的とし、学校において、学校生活や家庭生活・家庭環境、経済的困窮等の課題を抱えた子ども及び子育て世帯を発見し、区役所（こどもサポートネット推進員・SSW）と連携して保健福祉の支援制度や地域資源の適切な支援につなぎ、社会全体で総合的に支援する事業

めざす成果及び戦略 地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化

## 具体的取組2-1-1 地域密着型エリアリノベーションビジネス促進事業

30決算額	—	元予算額	14,263千円	2予算額	17,977千円
-------	---	------	----------	------	----------

目標	目標値
本事業の参加者へのアンケートで、西成区に魅力を感じたと答えた割合	70%以上

### 今年度の取組内容

新今宮駅前エリア内において、来訪者をはじめ多くの区民・市民が回遊し、にぎわいが創出できるよう、企業等と連携し、アンテナショップやまち歩きなどの手法を用いた仕掛けづくりを行うとともに、空き店舗等の改修費用についての一部補助制度を実施する。(補助件数2件)

めざす成果及び戦略 地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化  
**具体的取組2-1-2 新今宮エリアブランド向上事業**

30決算額	—	元予算額	—	2予算額	8,990千円
-------	---	------	---	------	---------

目標	目標値
新今宮エリアのブランドイメージ向上に繋がる歴史・文化・賑わいなど観光の魅力を5つ以上紹介する民間の情報誌又はWEBページ等の掲載件数	3件以上
・宿泊者、来街者へのアンケート、SNS上の口コミ分析により「新今宮エリアの良いイメージ」を回答・発信する割合	75%以上

**今年度の取組内容**

- 大阪ミナミの活性化をめざす鉄道事業者や宿泊事業者との連携のもと、大阪ミナミの新たな玄関口として「新今宮エリア」の歴史・文化・にぎわい等の魅力を発信し、「新今宮エリア」のブランディングを図る。
- 西成区・浪速区・経済戦略局の3局区が民間事業者と連携し、テストマーケティングなどを実施しながら、エリアブランド確立に向けたターゲット設定や資源の選定など、エリアの魅力を効果的に発信するためのプロモーション戦略を検討・策定
- 発信ツールの準備

めざす成果及び戦略 地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化  
**具体的取組2-1-3 西成区魅力発信事業**

30決算額	1,202千円	元予算額	1,731千円	2予算額	3,160千円
-------	---------	------	---------	------	---------

目標	目標値
区のイベント等の参加者や区内の宿泊者等へのアンケートにより、区内の歴史的な名所などを知っていると答えた割合	50%以上

**今年度の取組内容**

来訪者に区内を周遊してもらえるよう、また、まちの魅力が十分に伝わっていない状況にあるため、区民に魅力を再認識してもらえるよう、マップやSNS等の様々な媒体を活用して、西成区の魅力を積極的に発信していく。

- ・観光マップ(改訂版)の作成
- ・SNS発信回数 12回以上
- ・区内小中学校にて、大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業の実施  
(中学校:3校、小学校:5校)

めざす成果及び戦略 地域活動の支援強化

## 具体的取組2-2-1 地域コミュニティ支援事業(改革の柱4-1)

30決算額	61,885千円	元予算額	64,515千円	2予算額	64,515千円
-------	----------	------	----------	------	----------

目標	目標値
本市の実施するアンケートにより、区の支援を受けた団体が支援に満足している割合	88%以上

### 今年度の取組内容

地域一丸となって、様々な事業や行事等に取り組めるよう、地域活動協議会を支援し、新たな人材確保と地域力の維持・向上をめざす。

- ・地域活動協議会補助事業の実施(全16地域)
- ・地域活動協議会の活動状況や自律の状況の把握、地域カルテ更新の支援など通じて地域活動協議会の課題を共有したうえで、地域の実状に即したきめ細やかな支援を行う。
- ・地域の自主財源の確保に向けた取組みとして、CB/SBの実施に向けた支援を行う。
- ・区ホームページやFacebookなどによる地域活動協議会に関する情報発信を行う。
- ・地域活動協議会における組織運営や、会計処理にかかる支援を行う。
- ・新たな担い手の確保、他のさまざまな活動主体との連携・協働にかかる支援を行う。
- ・地域課題やニーズの把握と解決に向けた支援(地域カルテの更新支援や地域資源の活用等)(研修会などの実施:年1回以上)
- ・市民活動にかかる支援ツール等の情報提供及びその活用にかかる支援(情報提供:年2回以上)

めざす成果及び戦略 地域活動の支援強化

## 具体的取組2-2-2 緑化推進事業

30決算額	1,322千円	元予算額	1,674千円	2予算額	1,674千円
-------	---------	------	---------	------	---------

目標	目標値
区民モニターアンケートにおいて、「お住まいの地域での地域活動(地域で行われる催し物、事業等)に関心がある」と答えた区民の割合	30%以上

### 今年度の取組内容

地域活動への動機付けや地域コミュニティの再生を目的に、高齢者の生きがいつくりやつながりづくりとしての地域拠点・活動場所の創出、また地域資源の一つであるボランティアの参画・協働による地域活動として、緑化推進事業を実施する。また、地域活動に関わってみたいといった層へのアピールも実施していく。

- ・種から育てる地域の花づくり事業の実施 年2～3回地域へ出荷(年間約50,000株)
- ・ボランティア意見交換会(年10回)
- ・ボランティア募集チラシの配布(イベント時及び花苗供給時等)
- ・花と緑の講習会の実施 年5回
- ・ボランティア養成講座の開催 年1回

めざす成果及び戦略 地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

## 具体的取組2-3-1 西成版サービスハブ構築・運営事業

30決算額	—	元予算額	19,256千円	2予算額	24,296千円
-------	---	------	----------	------	----------

目標	目標値
課題解決に向けた具体的事例の検討件数	100件

### 今年度の取組内容

- ・生活困窮者等が気軽に立ち寄ることができる場所を設置し、そこを居場所として提供(260日)するとともに、地域の福祉サービス提供者等と連携し、さらなる居場所を開拓していくことにより、支援へとつなげる。
- ・また、就労、福祉などの分野を超えて、困難な事例の解決を図ることができる支援員を配置(260日)して、生活訓練から就労支援まで、個々人に応じたマッチングを図ることなどにより、抱える課題の解決を図り、各々に応じた自立をめざしていく。
- ・さらに、日雇労働市場や地域の膨大な福祉需要等を地域の資源として活用して、(中間)就労やボランティア先等の開拓などを行い、支援の出口そのものを広げることにより、社会参加を促していく。

めざす成果及び戦略 地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり  
**具体的取組2-3-2 西成区地域福祉計画推進事業**

30決算額	—	元予算額	1,089千円	2予算額	846千円
-------	---	------	---------	------	-------

目標	目標値
推進チーム会議や各分野別検討会議等を定期開催し、3年間で取り組むべき地域福祉計画の4つの重点項目を中心に、令和2年度に取り組むべき項目を選定し、取組項目の達成度A(順調である)の割合	50%以上

**今年度の取組内容**

令和元年度から令和3年度までの3年間で取り組む西成区地域福祉計画に基づき、地域住民・区役所・区社会福祉協議会・社会福祉施設などで構成された推進チームや推進会議、高齢者、障がい者、子育て等の分野別検討会議等の開催を行うとともに、地域ネットワーク委員など地域活動の担い手の発掘・育成のため、地域での成功事例の共有や新たなつながりづくり、区民フォーラム開催などを通じて地域福祉を推進する。



めざす成果及び戦略 地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

## 具体的取組2-3-3 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

30決算額	28,689千円	元予算額	28,287千円	2予算額	30,294千円
-------	----------	------	----------	------	----------

目標	目標値
見守りフォーラムなどの参加者に対するアンケートで地域における見守り活動に関わっていくことが必要だと感じている割合	60%以上

### 今年度の取組内容

区社会福祉協議会に「見守り相談室」を設置し、以下3つの機能を一体的に実施し、また、見守りフォーラムを開催(1回)するなど啓発活動を実施することにより、地域におけるきめ細やかな見守りネットワークの実現を図る。

- ①要援護者名簿(愛称「西成つながり名簿」)の地域への提供に係る同意確認・名簿整備
- ②見守り支援ネットワークによる孤立世帯等への専門的対応
- ③認知症高齢者見守りネットワークによる認知症高齢者の行方不明時の保護強化(事前登録及び発見協力者登録の推進)

※事前登録

認知症高齢者の行方不明時に協力者へのメールまたはファックス送信により早期発見につなげるため、写真や身体的特徴などを事前に登録する。

めざす成果及び戦略 地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

## 具体的取組2-3-4 単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業

30決算額	12,822千円	元予算額	12,881千円	2予算額	10,403千円
-------	----------	------	----------	------	----------

目標	目標値
「社会的なつながりができた、生活が改善した」と感じている利用者の割合	70%以上

### 今年度の取組内容

社会的つながりがない、又はほとんどない単身高齢生活保護受給者等に対して、社会参加に向けた支援や基礎的な生活の支援を行うとともに、日中の居場所を提供する。(260日以上)

めざす成果及び戦略 人権尊重のまちづくり

## 具体的取組2-4-1 人権尊重のまちづくり

30決算額	2,000千円	元予算額	2,000千円	2予算額	2,000千円
-------	---------	------	---------	------	---------

目標	目標値
人権を考える区民のつどい、人権講座のアンケートで「事業の内容に満足した」と回答した参加者の割合	70%以上

### 今年度の取組内容

参加者が人権にかかわる正しい理解と認識を深め、態度や行動へと結びつけられるような事業を展開するとともに、多様な機会を通じて人権に関する情報を発信する。

- ・人権を考える区民のつどい(2回)
- ・人権講座(3回)
- ・西成区広報紙への人権コラム掲載(年4回)

めざす成果及び戦略 コミュニティ防災力の強化

### 具体的取組3-1-1 地域防災活動事業-地区防災計画を活用した地域防災力の向上-

30決算額	3,868千円	元予算額	5,617千円	2予算額	5,952千円
-------	---------	------	---------	------	---------

目標	目標値
事業実施した地域へのアンケートにおいて「住んでいる地域特性に応じた、災害時の対応」が理解できたと回答した割合	90%以上

#### 今年度の取組内容

作成した地区防災計画に基づき地域ごとに防災訓練を実施する。災害時の避難行動、要支援者の支援、避難場所や避難所の運営ルールなどを確認・共有化することで、地域コミュニティにおける共助の意識の醸成を図り、地域防災力を高める。(令和2年度は8地域で実施)

### 具体的取組3-1-2 地域防災活動事業-地域防災の担い手の発掘・育成-

目標	目標値
受講者のうち、「地域の防災活動に積極的に関わっていこうと思う」と答える割合	90%以上

#### 今年度の取組内容

地域防災リーダーに加え、防災協力事業所や学生などを対象とした講習会の実施など、地域防災の新たな担い手の発掘・育成及び連携強化に取り組む。

対象:地域防災リーダー16地域、防災協力事業所42事業所(令和2年3月31日現在)、区内中高生  
・防災アドバンス講習会を2回開催

めざす成果及び戦略 防犯・安全対策の推進

## 具体的取組3-2-1 防犯対策事業

30決算額	2,307千円	元予算額	2,545千円	2予算額	2,545千円
-------	---------	------	---------	------	---------

目標	目標値
令和2年の街頭における犯罪発生件数	前年より減少させる (令和元年 833件)

### 今年度の取組内容

警察とより連携した防犯対策を推進するために所轄警察と締結した「西成区安全・安心なまちづくりに関する協定」に基づき、警察、区役所が一体となって、地域の安全・安心の取組を進める体制を構築する。また、子ども達の安全を見守り、地域の防犯活動を支援し、区民一人一人の防犯意識を高めるための各種キャンペーン等を地域、警察と協働し取り組む。

- ・防犯カメラ設置補助(8台)随時
- ・自主防犯活動支援(随時)
- ・青色防犯パトロールカー及び自転車による巡回(随時)
- ・遠足等の随行警備(随時)
- ・防犯啓発キャンペーンの実施(ひったくり防止カバー取付)
- ・特殊詐欺防止啓発活動
- ・小学校、幼稚園等での防犯教室の開催(随時)

めざす成果及び戦略 防犯・安全対策の推進

## 具体的取組3-2-2 自転車等安全利用啓発事業

30決算額	3,738千円	元予算額	4,670千円	2予算額	4,561千円
-------	---------	------	---------	------	---------

目標	目標値
区民アンケート等により、交通ルール・マナーに関する意識が高まっていると回答する区民の割合	70%以上

### 今年度の取組内容

交通安全に関する意識を養うことにより、区民の交通ルールの遵守とマナーアップを図る。特に、自転車の安全利用の啓発及び区内主要駅における放置自転車問題に取り組む。

- ・交通安全区民大会実施(4・9月)
- ・交通安全運動等での啓発活動(随時)
- ・めいわく駐車・駐輪追放キャンペーン
- ・放置自転車啓発指導員の配置
- ・自転車対策連絡協議会による放置自転車合同啓発
- ・広報紙等への自転車特集

めざす成果及び戦略 空家等対策の推進

## 具体的取組3-3-1 空家等対策推進事業

30決算額	175千円	元予算額	414千円	2予算額	414千円
-------	-------	------	-------	------	-------

目標	目標値
特定空家等の解体や補修等による是正件数	10件以上

### 今年度の取組内容

特定空家等の所有者調査を行う(新たに把握した物件全件)

- ・是正に向けた助言、指導の実施(所有者が判明した物件全件)
- ・広報紙、ホームページでの空家の適切な維持管理等に関する啓発の実施(広報紙:1回、ホームページ:通年)
- ・空家の管理、活用に関するセミナーの開催(1回)

## 具体的取組4-1-1 不法投棄対策

30決算額	141,617千円	元予算額	147,066千円	2予算額	110,997千円
-------	-----------	------	-----------	------	-----------

目標	目標値
令和2年度の不法投棄ごみ量(収集量)	前年度より減少させる

### 今年度の取組内容

- ・地域内における不法投棄を防止するための巡回活動を実施する。(年間364日)
- ・公園に設置した美化啓発拠点に持ち込まれる、家庭ごみを適正に処理するとともに、地域住民に対し家庭ごみの排出ルールの啓発を行う。(年間364日)

## 具体的取組4-1-2 迷惑駐輪対策

目標	目標値
地域内の路上駐輪台数	2,000台以下

### 今年度の取組内容

- ・地域内に設置した、自転車置場の適切な管理、利用促進を図る。
- ・建設局と連携した対策を実施し、迷惑駐輪による交通障害の解消を図る。
- ・新たな対策の検討に向けた、実態調査を実施する。



めざす成果及び戦略 あいりん地域を中心とした結核対策

## 具体的取組4-2-1 結核患者の早期発見・早期治療

30決算額	17,750千円	元予算額	20,900千円	2予算額	20,454千円
-------	----------	------	----------	------	----------

目標	目標値
あいりん地域の結核患者のうち、西成区実施の健診によって発見された方の割合	25%以上

### 今年度の取組内容

- ・あいりん地域内の患者発生アパートにおいて個別受診勧奨を実施することによりハイリスク健診を強化する。
- ・あいりん地域内健診を月3回以上実施し、関係機関と連携して受診の徹底をはかる。
- ・あいりん地域住民に対して、生活保護担当者や介護支援者等と連携して定期受診を勧奨する。

めざす成果及び戦略 あいりん地域を中心とした結核対策  
**具体的取組4-2-2 結核患者の支援の充実**

30決算額	29,755千円	元予算額	34,168千円	2予算額	34,491千円
-------	----------	------	----------	------	----------

目標	目標値
新登録肺結核患者の治療失敗・脱落中断割合	3%以下

今年度の取組内容

- ・あいりんDOTS(肺結核患者に対する服薬支援)を、患者の状況に応じて選択できるよう拠点型・訪問型を一体的に実施し、より確実な服薬支援を実施する。
- ・居所がない患者に対して、治療期間に限りあいりん地域内で居所を提供し、あいりんDOTSの実施により治療中断を防ぐ。
- ・あいりんDOTS実施者を対象とした「DOTS実施者のつどい」を月1回開催する。
- ・あいりん地域以外の患者に対して、リスクアセスメントを実施したうえで適切な服薬支援を選択して治療完了へ導く。